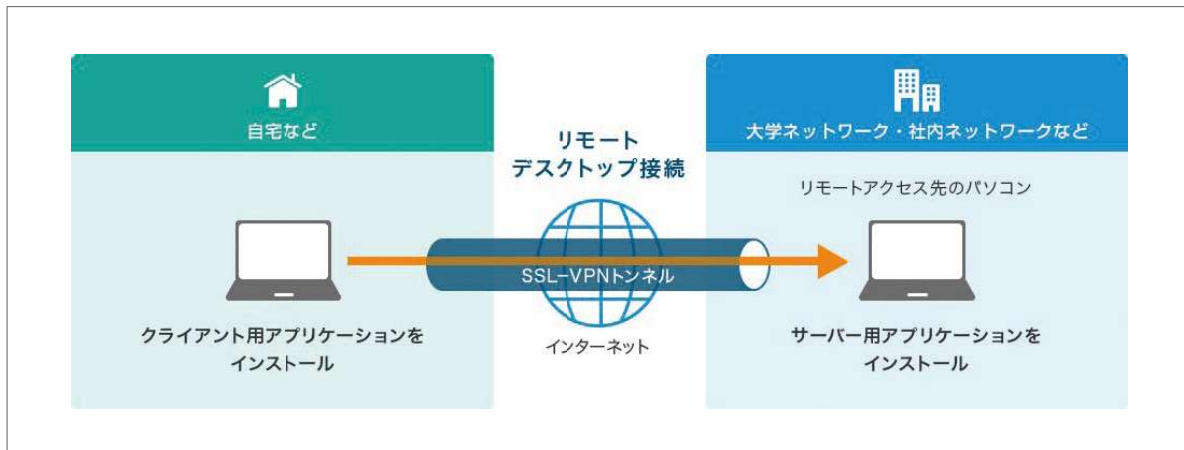


図表4-3-4 ▶ 「シン・テレワークシステム」によるリモートアクセスイメージ



出所：NTT東日本「NTT東日本とIPAによる『シン・テレワークシステム』の緊急構築と無償開放について」（2020年4月21日）

■企業のリモートワークシステム普及支援

NTT東日本は、企業のリモートワーク推進を支援するため、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）と共同で「シン・テレワークシステム」を開発し、2020年に提供開始した。同システムは、リモートワーク環境を簡単かつ安全に構築できる仕組みを提供するもので、以下の特徴を有する（図表4-3-4）。

- ・低コストでの導入：特別な専用機器を必要とせず、既存のパソコンやタブレットで利用可能
- ・迅速な導入：サーバー構築が不要で、中小企業やリモートワークに不慣れな組織でも短期間で導入可能
- ・高セキュリティ：セキュリティリスクを軽減しつつ簡易な接続を実現

コロナ禍におけるリモートワーク需要の急増を受けて展開された同システムは、特に、システム構築への多大な投資が困難な中小企業のリモートワーク導入を支援した。これにより、企業の業務継続性を高めるとともに、多様な働き方を支えるプラットフォームとしての役割を果たし、企業のDX推進に貢献した。

■シェアオフィスの提供

NTT都市開発が2018年に展開を開始した、都市部におけるシェアオフィスサービス「LIFORK（リフォーク）」は、コロナ禍を通じて進展した働き方の変化への対応に貢献した。このサービスは、企業の多様な働き方を支援し、働き手が必要な場所で自由に働ける環境を提供するものだ（図表4-3-5）。

東京や大阪を中心に複数の拠点を備え、利用者が好きな場所で仕事を行えるうえ、高速Wi-Fi、個室ブース、会議室、リラクゼーションスペースなどを完備している。利用にあたっては、定額制の会員プランだけでなく、1時間単位のスポット利用も可能である。分散型オフィスの需要増加を受け、同社はサードプレイスとしての利用を推奨している。

図表4-3-5 ▶ LIFORK秋葉原イメージパース



出所：NTT都市開発「新たなワークスタイル・ライフスタイルを実現する場『LIFORK（リフォーク）』の立ち上げ」（2018年2月9日）

図表4-3-6 ▶ droppinのイメージ



出所：NTTコミュニケーションズ「フレキシブルワークを実現する、ワークスペースの検索・予約サービス『droppin™』の提供開始」（2021年10月4日）

シェアオフィス市場の拡大とともに、今後も拠点の拡充や、他社との提携によるサービス向上が見込まれている。

■サードワークプレイスの利便性の向上

NTTコミュニケーションズは、サードワークプレイス